

(様式4)

## 情報公開文書

課題名 : 当院における切除不能悪性肝門部胆管閉塞に対する細径 Covered Metallic Stent の Side-by-side 留置法の成績

研究期間: 倫理委員会承認日～2022年10月14日

### 1. 研究の対象

当院で2020年4月から2022年3月までの間に、外科的切除不能な悪性肝門部胆管閉塞に対して、カバー付き金属ステントによる両葉ドレナージを行った患者さん

### 2. 研究目的・方法

外科的切除不能な悪性肝門部胆管閉塞に対する内視鏡的胆管ドレナージ術は、ドレナージ範囲やステントの種類、留置方法などに関して様々な手法が報告されておりますが、標準的なドレナージ方法は確立されていないのが現状です。両葉ドレナージのひとつの手法として、カバー付きの細い金属ステントを用いた Side-by-side 留置法と呼ばれる手法があります。

今回本治療を行った患者さんの診療録から情報を抽出し、その有用性について検討したいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部  
情報: 病歴、治療歴、偶発症等の発生状況等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

### 6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:  
浜松医療センター 消化器内科 鈴木 安曇(研究責任者)  
住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328  
電話: 053-453-7111(病院代表)

2022年3月14日作成